

令和3年度 出合い・発見・創造展 ー学びに向かう力を育むー

<学年テーマ>

年長 「もっと知りたい! 世界のいろいろな国」

年中 「おかしの家」

年少 「大好きなごっこ遊び」

満3歳 「大好きな動物」

日 時	10月23日(土)	9:00 ~ 12:15
	10月24日(日)	9:00 ~ 12:15
場 所	静岡豊田幼稚園	

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、来園していただく時間を指定させていただきました。ご協力をお願いいたします。

★出合い・発見・創造展とは

子どもたちがまわりの人・もの・ことと出会うことで、感じたり、考えたり、発見したりすることを大切にし、それらの経験を生かして様々な表現を楽しみ、新たな考えやものを創造する喜びを味わうことを目指した取り組みです。

このしおりでは、それぞれの作品が生まれた背景やプロセス、子どもたちの思いや工夫したところなどを紹介しています。

各学年のテーマに沿って、子どもたちが創り出した個人作品と共同作品が、遊戯室と保育室を中心に展示してあります。また、子どもたちが2学期に描いた絵画作品から1点を選び出し、保育室に展示してあります。

展示場所については、「展示案内図」をご覧ください。

子どもたちの作品をご覧いただき、込められた思いや一人一人の成長を感じとっていただければ幸いです。

【各学年のねらい】

<満3歳児>

- ◎ 身近な素材や材料に触れる。
- ◎ 道具の使い方を知り、作ることを楽しむ。
- ◎ 自分なりに表現することを楽しむ。

<年少児>

- ◎ いろいろな素材があることを知り、使って遊ぶことを楽しむ。
- ◎ 作りたいものに合った材料を使って、見立てて遊ぶ楽しさを感じる。
- ◎ 教師や友達と一緒に描いたり、作ったりすることを楽しみ、できた喜びを感じる。
- ◎ 感じたことや思ったことを教師や友達、家族に伝えようとする。

<年中児>

- ◎ 友達と考えを出し合いながら作る楽しさを味わう。
- ◎ 身近にあるいろいろな素材や材料を使って、イメージを膨らませながら表現する喜びを味わう。
- ◎ 目的に向かって友達と力を合わせて取り組み、楽しんで作ろうとする。
- ◎ 今までの経験を生かし、思いを膨らめながら作ろうとする。

<年長児>

- ◎ 友達に思ったことや考えたことを自信をもって伝え、遊びに活かしていく。
- ◎ 友達と一緒に取り組む中で、思いを膨らめながら作り上げる喜びを味わう。
- ◎ いろいろな材料に触れ、試したり工夫したりしながら、イメージに合うものや方法を選んで作ろうとする。
- ◎ 友達と互いのよさを認め合いながら、協力して活動を進めていこうとする。
- ◎ 色のきれいさを感じ、自分のイメージした色を工夫して作ることを楽しむ。

満3歳児 「大好きな動物」

動物が大好きな子どもたち。遊びの中でも動物の玩具を使って楽しんだり、動物の絵本を選んで読んだりしています。

紙をはさみで切ったり、のりで貼ったりして、何かを作る経験はまだ少ないですが、先生や友達と一緒に動物づくりに取り組み、だんだん形になっていくのを楽しむ姿が見られました。子どもたちが作った動物の顔は、どれも可愛らしい表情をしています。それぞれのペースで、描いたり作ったりすることを楽しみ、それが自信につながってくれることを願っています。



年少児 「大好きなごっこ遊び」

子どもたちはごっこ遊びが大好きです。1学期は、ブロックや積み木を何かに見立てて、ままごとやお店屋さんごっこをすることが多かったですが、2学期になり、身近な材料を使って、ごっこ遊びに必要な食べ物や用具を自分なりに作る姿が多く見られるようになってきました。子どもたちは大好きな食べ物をひとつ選び、身近な材料を使って食べ物をつくり上げました。作りながら、友達と楽しく話をしたり、作ったものを見せ合ったりしていました。はさみやのりの使い方も上手になってきて、自分のイメージしたものを、自分の力で作ることができる喜びを味わっていました。

てんとうむしのキッチンも、みんなで力を合わせて作りました。クラスで作ったものを合体させるとてんとうむしになり、子どもたちは大喜びでした。



年中児 「おかしの家」

子どもたちに「あったらいいなと思うものは何?」と尋ねると、「おかしの家」という言葉が出て、そこからおかしをイメージが、どんどん膨らんでいきました。おかしに住む自分を想像して、顔や髪型、服、ポーズ等を工夫しながら自分を作りました。細かい部分も考えながら作った立体的な作品は、どれも子どもたちの思いが込められています。

また、オリジナルのおかしも、友達と相談しながら描いたり作ったりしました。友達とイメージを共有することは簡単ではありませんが、話したり、手ぶり身振りで伝えたり、デザインを紙に描いたりしながら思いを共有し、一緒に作り上げる楽しさを味わうことができました。



年長児 「もっと知りたい! 世界のいろいろな国」

今年の夏、東京でオリンピックが開催されたことがきっかけとなり、子どもたちは世界のいろいろな国に興味をもつようになりました。

オリンピックの開会式でいろいろな国の選手が民族衣装を着て入場する姿を見たことで、民族衣装にも興味をもち、図鑑で調べてみると、たくさんの民族衣装があることを知り、それぞれの特徴や素敵だと感じたところについて伝え合う姿が見られました。また、肌の色や目の色、髪の色に違いがあることにも気づき、世界の人々を表現してみたいという思いが膨らんでいきました。

子どもたちは、それぞれお気に入りの民族衣装を選び、その特徴を表現するために、様々な材料を工夫して使い、何日もかけて「民族衣装を着たぼく・わたし」を作りました。色とりどりの民族衣装を着た45人の子どもたちは、とても素敵です。ぜひ、多くの方に見ていただきたいと思います。



民族衣装を着た子どもたちの輪の真ん中にある大きな地球は、年長児全員で力を合わせて作りました。「地球って、こんなに海が広いんだね」「陸はまつぐみの色。海はたけぐみの色」「まつとだけで地球ができています」と話しながら、楽しく作りました。日本の部分を塗りたいと思う子が多く、自分の国に愛着を持っていることが伝わってきました。

また、子どもたちは、民族衣装について調べる中で、各国の有名な場所やもの、文化等にも興味をもつようになりました。グループで「もっと知りたい!」と思う国を選び、その国の自然や建物、食べ物などについて探求しました。家族と一緒に調べたことを、幼稚園に持ってきて、友達に紹介する子もいました。友達が調べたことを興味をもって聞き、さらに知りたいことを図鑑を使ってみんなで調べる姿も見られました。友達との関係が深まっている分、一人一人の発見や学びも大きくなっていると感じます。

今の時代、インターネットで調べる機会も増えていますが、その道の専門家に直接話を聞くということも大切な経験だと考え、おすしをテーマに選んだ子どもたちの疑問に答えていただくために、知り合いのお寿司屋さんに幼稚園に来ていただきました。子どもたちは、いろいろな方法で調べて発見したことを、絵や図に表したり、クイズにしたりと、工夫する姿がたくさん見られました。

これからも「もっと知りたい!」という気持ちを大切に育てていきたいと思います。



子どもたちの質問に答えてくださるだけでなく、お寿司をにぎるところを見てみたいという、リクエストにも応えてくださいました。

「すごい! 5秒でにぎれた」と子どもたちは感動していました。